

疾患別診療計画書

在胎週数35週で生まれた赤ちゃんのご家族の方へ

	入院当日	入院2～21日目	退院日	退院後の留意点
達成目標	赤ちゃんが呼吸のサポートを受けられる。 お母さんが赤ちゃんの治療について、不安なことや不明な点を主治医や看護師に伝えることができる。	呼吸状態が安定する。	赤ちゃんの呼吸状態が落ち着き退院できる。	【退院後の観察ポイント】
治療処置	呼吸状態に合わせて呼吸器が装着されます。	点滴・注射・内服治療・眼科診察が行なわれます。		次のことに注意してください。 ・便秘が2～3日続き、ミルクの飲みが悪く嘔吐が続くとき ・噴水状に吐いたり、授乳後1時間以上経ってからの嘔吐が何度も続くとき ・体温が37.5℃以上になるときが続くとき ・元気がなくミルクを飲まないとき
検査	血液検査・レントゲン検査があります。	血液検査・レントゲン検査・聴力検査・頭部MRI検査があります。		
食事		赤ちゃんの状態に合わせてミルクを飲みます。		
看護	<ul style="list-style-type: none"> 全身状態観察のため、定期的に検温をします。 赤ちゃんの皮膚トラブルを防ぐため十分な観察をします。 赤ちゃんの哺乳状況を見てミルクの量を調整します。 お腹の中で過ごしていた赤ちゃんが、少しずつ外の環境に慣れるよう援助します。 			
排泄	3時間おきにオムツを交換します。	<ul style="list-style-type: none"> 3時間おきにオムツを交換します。 うんちの出が悪い時は、肛門刺激や浣腸をして出すことがあります。 		育児については「メール相談」をご利用ください。
清潔		お風呂に入ります。(酸素が投与されている時は、お体を拭きます)	自宅でお風呂をお願いします。	
安静度	24時間保育器に入ります。	赤ちゃんの状態に合わせて、保育器または赤ちゃん用ベッドで過ごします。		
説明	<ul style="list-style-type: none"> 入院当日、主治医・担当医より病状説明があります。 看護師より赤ちゃんの1日の過ごし方、持参物、面会方法などについて説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 面会時にオムツ交換、授乳、直接母乳、肛門刺激の方法を説明します。 病状説明は適宜、主治医・担当医より行います。 ご家族から病状説明をご希望される場合は、スタッフにお申し出ください。日程調整いたします。 看護師よりオムツ交換、授乳や直接母乳、必要時肛門刺激や内服指導を行います。 ご不明な点がある場合はスタッフにお申し出ください。 退院時に用意していただくもの <input type="checkbox"/> 母子手帳 <input type="checkbox"/> 洋服 ※退院の時間は10時頃になります。ご家族の都合で時間調整が必要な方はお申し出ください。	<ul style="list-style-type: none"> 退院時に事務員からお会計について説明があります。 看護師から、退院後の生活と次回外来日などの説明があります。 	